2013 年 GNC モンゴルエコツアー（9 月 7 日～9 月 14 日）報告

1　セレンゲ県植林地視察

【日時】
2013 年 9 月 8 日 16：30～18：00（2012→2004 春）、9 月 9 日 14：10～14：30（2004 秋）
【場所】
セレンゲ県トジンナルス他
【参加スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
GNC Mongolia　オチル
【参加者】
株式会社アールキューブ　松永康利
株式会社アールキューブ　松永美湖
青年海外協力隊　木下聡
一橋大学　阿部達

１）森づくり
・2004 年春・秋、2012 年植林地視察
　まず、8 日夕方、あいにくの雨模様の中、森林・動物センター長のジャムスランさん、植林担当者のトメンナサンの案内で 2012 年の植林地を視察した。活着率は良く、10 センチ程度に成長していた。続けて、セレンゲ県における最初の植林地（トジンナルス・2004 年春植林）を視察した。活着率は良く、成長も順調である。どのアカマツも既に 3 メートル以上まで育っている。一部に地元住民の火の不始末が原因の火災跡があった。
　翌 9 日午後、2005 年愛・地球博のプレイベントの際の植林地（2004 年秋植林）を視察した。家畜の被害に毎年あっているが、今回はかなりしっかり活着しており安心した。ある程度以上に成長すれば、家畜の被害を受けずにすむ。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

2012 年春の植林地

2004 年春の植林地（GNC 初）

2004 年秋の植林地（2005 年愛・地球博のプレイベントの際の植林地）

２　セレンゲ県庁訪問

【日時】

2013 年 9 月 9 日 9：15～11：00

【場所】

セレンゲ県スフバートル市

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン

セレンゲ県庁

ツェンゲルザヤさん

１）森づくり
　セレンゲ県庁で自然環境局の森林課長ツェンゲルザヤさん、オトゴンエルデネさん（森林専門家）と打ち合わせを行った。まず GNC のセレンゲ県における植林計画について話し合った。今秋追加植林についての契約書は今回のツアー中に作成、押印して、後日渡すことになっている。
２）人づくり
　次に、人づくりに関わる取り組みについて話し合った。現在、GNC が計画している学生参加のフィールドスタディツアーについては、既にセレンゲ県として全面的に協力することが可能とのことだったが、今回はセレンゲ県の専門家によるレクチャーのお願いをし具体的なプログラム内容について話し合った。
　また、1 年前に新しいプロジェクトとして、県内の幼稚園（60 か所）に、森づくりの大切さを知らせる GNC オリジナル絵本「アカマツの赤ちゃんの夢」を配布し、子供たちが絵本の内容を表現した劇や踊りなどを発表するイベントを開催することとなったが、その後、ツェンゲルザヤさんは具体的な企画書を作成した上で県や国に予算化するよう働きかけてくれ、各幼稚園にも絵本を配布し、イベント開催について告知してくれていた。残念ながら予算化にはまだ至っておらず本格的なイベント開催には至らなかったが、第 7 幼稚園できわめてクオリティの高い発表会を見学することができた。これはツェンゲルザヤさんのサプライズ企画だったようで、実質的には第 1 回の発表会を実施できたと言ってよい出来だった。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

３　第７幼稚園視察＆発表会

【日時】
2013 年 9 月 9 日 11：45～12：30
【場所】
セレンゲ県スフバートル市
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
GNC Mongolia　オチル
【参加者】
株式会社アールキューブ　松永康利
株式会社アールキューブ　松永美湖
青年海外協力隊　木下聡
一橋大学　阿部達

1）人づくり
　セレンゲ県の幼稚園プロジェクトを本格的にスタートするにあたって、多くの分野で県内最高の実績をあげている第７幼稚園を視察した。3､4､5 歳の児童が 150 人在籍しており、6 クラスを 6 人の先生が担当している。園内の緑化、花育て、絵本作成、絵本を使ったお遊戯などのレベルが高く県から表彰されている。また、実はサプライズだったが、GNC のオリジナル絵本「アカマツの赤ちゃんの夢」を題材にした劇を見せてくれた。その完成度の高さと、先生方の指導の素晴らしさに感動し、何より園児たちのかわいさにスタッフ、参加者一同、心を奪われた。動画撮影できたので、それを先駆的な事例として他の幼稚園に見せることでイベント趣旨を説明し、活動を広めてゆくことが容易になった。来年の本格実施が期待できる。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

第 7 幼稚園

４　バヤンチャンドマン村視察

【日時】

2013 年 9 月 9 日 19：20～19：40

【場所】

トゥブ県バヤンチャンドマン村

【スタッフ】

GNC Japan　代表　宮木いっぺい

GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里

GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子

GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン

GNC Mongolia　オチル

【参加者】

株式会社アールキューブ　松永康利

株式会社アールキューブ　松永美湖

一橋大学　阿部達

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

１）苗畑づくり

・苗畑視察（19：20～19：40）

GNC　Mongolia の苗畑を視察する。新しい取り組みとしてアカマツの苗木も育てはじめた。今のところ順調に成長している。この冬を無事越すことを願っている。

バヤンチャンドマン村苗畑

アカマツの苗畑

５　モデル農場見学

【日時】

2013 年 9 月 10 日 10：30～12：30

【場所】

ウランバートル市ハンオール地区トーラ村モデル農場

【スタッフ】

GNC Japan　代表　宮木いっぺい

GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里

GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子

GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン

【参加者】

一橋大学　阿部達

農業ビジネスと行うグリーンウェイ社の経営者でもある GNC Japan　教育センター長ツグトサイハンさんのモデル農場を見学する。ハウス内の見学、機械修理のための作業場の見学、新しく建造中の日光温室の見学等。ツグトサイハンさんが細かく説明をしてくれた。今後、モンゴル NGO 体験ツアーやスタディツアーを実施する場合の重要拠点とすることを見込んでいる。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

日光温室

6　モンゴル国立大学エコロジー教育センター訪問

【日時】

2013 年 9 月 11 日 9：00～10：30

【場所】

ウランバートル市　モンゴル国立大学エコロジー教育センター

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
GNC Mongolia　ナサン
【参加者】
青年海外協力隊　木下聡
東京大学　ウンダーク
東京工業大学　バトチュナグ

2005 年に GNC Japan とモンゴル国立大学エコロジー教育センターが共同でオープンしたエコ植物園は、昨年就任したセンター長バトチョローンさんの下、市の予算を使って、さらに充実した公園として整備されていた。具体的には園内各所にきれいなごみ箱が設置され、噴水施設も稼働し、園内の植物の説明パネルも整備されていた。また公園内散策路沿いの植え込み用に GNC が提供したニレの苗木もしっかりと活着していた。東京都内の標準的な植物園と同じ水準に近付きつつある。

9 時半からのセンター長バトチョローンさんとのミーティングでは、今後の具体的な協力関係について話し合った。１）エコロジー教育センターで実施している環境教育プログラムを充実させる、２）公園整備や植物の専門的知識を提供すべく、GNC が派遣した専門家による集中セミナーを開催する、３）エコ教室をさらに充実させる、等である。今後は GNC 教育センター長のツグトサイハンさんがエコロジー教育センター長バトチョローンンさん、担当者のナサンさんと密に連絡を取り合いながら、これらのアイディアを実現させてゆくこととなる。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

７　エコ教室の実施

【日時】
2013 年 9 月 11 日 11：00～13：20
【場所】
ウランバートル市　モンゴル国立大学エコロジー教育センター
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
GNC Mongolia　ナサン
GNC Mongolia　谷口規子
【参加者】
青年海外協力隊　木下聡
東京大学　ウンダーク（留学生）
東京工業大学　バトチュナグ（留学生）
エコロジー教育センター10 年生、11 年生（日本では高 2、高 3）約 15 名
23 学校 8 年生（日本では中２）約 15 名
108 学校 11 年生（日本では高 3）約 20 名

予定より 1 時間遅れ 11 時にエコ教室をスタートした。今回の参加校、参加人数は、エコロジー教育センター10 年生、11 年生（日本では高 2、高 3）約 15 名、第 23 学校 8 年生（日本では中２）約 15 名、第 108 学校 11 年生（日本では高 3）約 20 名である。11 時～11 時半は、GNC の紹介、メンバー紹介、森づくり活動の紹介として、セレンゲ県で 2004 年に植林したアカマツの写真を見てもらう。さらに人づくり活動の紹介として、9 日第 7 幼稚園訪問の際の発表会の動画を見てもらう。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

11時半から12時まで留学生のバトチュナグさんとウンダークさんが日本のエコポリスの施設、活動を紹介した。生徒からの質疑応答は活発だった。とりわけエコロジー教育センターの生徒たちがきわめて熱心で質問がとぎれなかった。自分たちはいったい何ができるのか・・・等アクションにつながる具体的なものが多かったので、今後が楽しみだ。12 時から休憩。

12時20分からGNC Japanの小川安里さんが日本の幼稚園の環境教育について取材にもとづいて紹介した。その後、ワークショップ形式で各校の生徒たちの意見を取りまとめてもらい順に発表してもらった。バトチュナグさんがファシリテーションについて全面的に協力してくれた。13時20分過ぎに感想文を集めて終了した。

8　第42幼稚園視察＆発表会

【日時】

2013年9月11日 14：10～15：40

【場所】

ウランバートル市　第42幼稚園

【スタッフ】

GNC Japan　代表　宮木いっぺい

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
青年海外協力隊　木下聡
東京大学　ウンダーク
一橋大学　バトチュナグ
一橋大学　阿部達

1）人づくり

第 42 幼稚園を訪問する。園長はオトゴンジャルガルさん（女性）。かつて板橋で研修し吉田広子さん（板橋モンゴル孤児支援の会　代表、しばしば GNC の活動をサポートしてくださっている）と一緒に仕事をしたことがあるとのこと。まずはミーティングを行い、これから何が出来るか話し合った。たとえば、セレンゲ県の第 7 幼稚園同様、GNC オリジナル絵本「アカマツの赤ちゃんの夢」にもとづいたお遊戯等の発表会の企画について相談した。また、小学校と幼稚園のコラボで、GNC のモデル農場でジャガイモ掘り体験学習を実施するプランについても話し合った。話し合いの後、園児たちのお遊戯発表会を見学した。この水準もきわめて高かった。指導した先生のご努力は大変なものだと思われる。

第 42 幼稚園

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

9　第 18 学校訪問

【日時】
2013 年 9 月 11 日 16：20～17：30
【場所】
ウランバートル市　第 18 学校
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
東京大学　ウンダーク
一橋大学　阿部達

　はじめに手違いで本日のエコ教室に招待できなかったことを謝罪した。その後、板橋区立志村第三小学校より事前にお預かりした生徒による学校紹介の DVD をお渡しした。今後両校がより親交を深めていくように GNC としても協力していきたいと思う
　そのうえで、プレブジャルガル校長先生ご自身の体験にもとづいて提案された新しいプロジェクト案「教員の短期研修プログラム」についてブレーンストーミングを行った。必要な資金をどのように調達するか、受入校をどう選定するか、プログラム内容をどのようにするか等が今後の課題であるが、予算的にも十分実現可能でありこれからが楽しみだ。今後、第 18 学校の日本語教師と密に連絡を取り合いながら当プログラムを実現させてゆく予定である。とりわけエルデネソウダ先生は、来年度から宇都宮大学に留学することが決まっており、GNC の活動にも日本で協力してくれるとのこと。プレブジャルガル校長先生によるととても優秀な日本語教師とのことで頼もしい。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

１０　フェアトレードプロジェクト

【日時】
2013 年 9 月 12 日 10：40～13：40
【場所】
ウランバートル市ハンオール地区トーラ村モデル農場
【スタッフ】
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
ドランジャヴさん（ドヤさん）（農場勤務）
バダムハンドゥさん（もと整備士）
ビャンバスレンさん

　地元トーラ村の村民である 3 人の女性、ドランジャヴさん（ドヤさん）（農場勤務）、バダムハンドゥさん（もと整備士）、ビャンバスレンさんを招いて GNC Japan の荻原さんが布の小物作りの講座を開いた。フェアトレードへつながる可能性を考えている。作業終了後は、楽しく歌合戦をし、13 時には一緒に昼食を食べた。3 人とも同じ村民でありながらお互いに付き合いは無かったとのことだが、作業終了後はすっかり仲良くなり笑顔で帰っていった。このプロジェクトを通して、単に村民の収入がアップするだけでなく、村民同士のネットワークが強まることが期待できる。今後どのようにフェアトレードプロジェクトを展開するかを現在検討している。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

１１　ゴミ処分場、プラスチックリサイクル工場見学

【日時】
2013 年 9 月 13 日 10：00～11：10
【場所】
ウランバートル市
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
青年海外協力隊　木下聡

　青年海外協力隊員の木下さんの案内で、ウランバートル市内に 3 か所あるゴミ処分場の 1 つを見学した。郊外の丘の間の谷をごみで埋め立ててゆき、パワーショベルやブルドーザ

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

ーなどの重機によって土をかぶせる。リサイクルできるものは許可された者が持ってゆく。しかし無断で持ってゆくものも多く、規制もできないとのこと。現在ウランバートルには同様の施設があわせて 3 か所ある。清掃業者に市が委託してゴミ収集をしている。住民がゴミを出す段階では分別していないが、収集段階やゴミ処分場で分別される。ここは 2020 年まで使い、その後は、上に土をかぶせポプラなどを植林する予定とのことだった。現在予定より人口増加、ゴミ増加の伸び率が大きく問題となっているとのことである。

既に役目を終えて植林がはじまっているかつてのゴミ処分場を見学する。とても地下にゴミがあるとは思えない。しかし、ポプラはそれほどうまく育っていない。番人と番犬がいる。植林に使う苗木は市が業者から購入している。GNC としてはスタディツアーのメニューとして、ここに学生を連れてきてゴミ処分のしくみや問題点などを見てもらい、その上で記念植樹するのもひとつのアイデアである。

その後、ビニールやプラスチックを再資源化してプラスチックのマンホールを作っている工場も見学した。近い将来、ツォゴさんは機械を購入して自分でも同様の工場を作りたいと言っていた。

ゴミ処分場

ゴミ処分場跡　植林地

リサイクル工場

プラスチック製のマンホール

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.